

「スキャフォールドフリー滑膜間葉系  
幹細胞由来三次元人工組織を用いた  
軟骨再生-基礎研究から臨床応用まで-」

下村 和範 特任助教 (スポーツ医学)

関節軟骨は自己修復能に乏しく、一旦損傷すると治療が困難であり、損傷を放置すると変形性関節症へ至る。我々は、滑膜間葉系幹細胞からスキャフォールドを用いず三次元人工組織を作成する技術を開発し、これらを用いた新たな軟骨再生治療法の確立を目指し研究を行ってきた。

本発表では、これまでに行った基礎研究を紹介するとともに、臨床応用までの経験を述べる。

「同種滑膜間葉系幹細胞由来  
三次元人工組織 (gMSC®)移植 による  
膝軟骨再生治療の治験に向けた取り組み」

阪上 守人 氏 (株式会社 ツーセル)

我々は、先行のスキャフォールドフリー滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織(TEC)を用いた軟骨再生の臨床試験結果を受けて、無血清培地にて培養・作成した同種滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織(gMSC)移植による膝軟骨再生治療の有効性並びに安全性を評価するために本年度より治験を実施する予定である。

今回は、治験実施に向けたgMSCの軟骨分化能、造腫瘍性試験、無菌試験、ウイルス否定試験などの安全性、さらに品質管理について発表する。

2017.5.31 (Wed)

18:00-19:00

座長 中村 憲正 教授

(大阪保健医療大学保健医療学部 教授、  
大阪大学国際医工情報センター  
招へい教授)

最先端医療イノベーションセンター棟  
1F マルチメディアホール

第13回 **最先端医療**

**イノベーションセンター**

**定例セミナー**

お問い合わせ先

最先端医療イノベーションセンター事務室

06-6210-8201 / i-sentaninobe@office.osaka-u.ac.jp